

学校教育目標 「自ら学び、心豊かでたくましく生きる生徒の育成」

本年度の努力点

- 生きる力を育てる学習指導の充実を図る。
- 地域の自然、地域社会、学校生活での体験活動を、家庭や地域と連携し、原っぱ教育と関連づけながら行い、たくましさ豊かな人間性を育てる。
- 生徒指導の推進を図る。
- 職員研修の充実に努める。
- 開かれた学校への取り組みの発展と実践に努める。

点数化の方法

(そう思う)×100+(ややそう思う)×50+(どちらとも言えない)×0-(あまり思わない)×50-(そうは思わない)×100 を有効回答人数で割ってあります。  
 最大値(全員がそう思う)100 ~ 中央値(各項目均等又は全員がどちらとも言えない)0 ~ 最小値(全員がそうは思わない)-100 の値になります。  
 ※ 上段が本年度の点数、中段が昨年度の点数と本年度の点数の差、下段が一昨年度の点数と本年度の点数の差になります。

	重点目標	評価指標	達成状況	教師	生徒	保護者	改善策等
確かな学力の定着	学力の向上	生徒の実態を踏まえた個に応じた指導	教材研究に力を入れ、展開や板書、発問に工夫を凝らすとともに、T・Tや机間巡視による指導など、一人一人に対応した指導の工夫・改善を進めてきた。	80 +8 +12	60 -7 +9	43 +3 +22	生徒の実態を確認する手段を多様化、客観化し、個に応じた指導がよりきめ細かくできるようにする。
		表現する力を育てる指導	授業での生徒間の意見交換、発表の場面を増やす。考えをまとめやすい課題や発問の工夫、学びあいなど、不足はあるものの表現力を高める指導が実践できた。	60 -11 -14	63 +7 +12	19 +6 +18	コミュニケーション能力の獲得が必須と考えられていることから、授業のみならず学校生活全般を通じてこれらの活動を積極的に取り入れていく。
		ノート作りの指導	授業中の机間巡視および提出時に教科担任から、また、学級での自主学習提出時に担任からの指導が行われ、生徒のノートに姿容が見られるようになった。	78 +49 +34	59 +3 +15	25 -8 +1	重要な点を明確にし、ノートに取りやすい板書の工夫を進める。上手に作られたノートを参考にしやすいよう示すなど、有効なノート作りができる生徒を増やすよう取り組む。
		家庭学習の習慣化	研究対象から外れたものの、授業の予習、復習に関わる課題、自主学習ノートの提出の奨励など、「学びの甲斐善八か条」に基づいて家庭学習の習慣化を目指して取り組んだ。	44 -12 -30	61 +1 -1	30 -3 -17	家庭学習の習慣が身につけている生徒は多くなった。現在行っている放課後学習等も活用しながら、意義を見出せない・一人での学習が不安・課題設定が不適切などの生徒、一人一人の生徒に対応した援助をしていく。
豊かな心 健やかな体の教育	生徒理解	生徒の悩みや不安に対しての相談・生徒理解	学年、生徒指導部を中心に一人一人の状況を職員が共有して対応してきた。全体として落ち着いた学校生活を過ごしている。	90 +18 +31	42 +16 +26	19 +19 +21	声かけや面談、アンケートなど、生徒の状況把握、対話に努めると共に保護者との情報の共有と対話の機会を増やす。職員が情報を共有し生徒のストレスの軽減を図る。
	あいさつの習慣化	あいさつの指導	生徒会を中心にあいさつ活動に取り組んできた。あいさつを交わすことの気持ち良さを実感させ、高い意識をもって継続したい。	71 +2 -8	80 -4 +2	54 -4 +7	学校内のあいさつは習慣化されている。校外学習など、T・P・Oに応じた温かみのあるあいさつができるよう、機会の創出と指導を継続する。
	地域人材等の活用	地域人材・教材の活用を図り、地域のリソースを活用した実践	授業や行事の中に人材等の地域リソースを活用することができた。時間的制約もあり、生徒・保護者の期待を十分満足させることができなかった部分もあった。	61 +19 +26	70 -4 -7	67 -11 +5	ふれあいタイムなどの取り組みは、生徒・保護者にも好評である。限られた時間の中で十分な成果を上げるよう、内容等にさらなる工夫を行う。
	自主性を育てる生徒会活動	生徒会や委員会活動を積極的にしている	生徒会活動は全体的に活発である。職員が援助・指導している部分を生徒の責任下に移譲する方向で取り組んでいる。	63 -11 -8	76 ±0 +10	60 -4 +9	自主的かつ特色ある活動(特に委員会活動)に重点を置き、生徒が自らの提案を責任を持って検討し実行することができるよう指導していく。
	朝読書	朝の読書活動の充実	短時間ではあるものの文章を読み解く力を高めるとともに、文学への関心を高める取り組みを図書館主任、図書委員会を中心に展開している。	67 +11 +5	55 ±0 +9	28 +1 +15	朝読書は定着している。日常的な読書の定着を図るため、文章を読み解く力をつけることが興味としても社会生活の上でも重要であることを継続して指導していく。
	キャリア教育の充実	生徒の将来に関わる生き方や進路指導	いろいろな場面において進学、職業、生き方に関する学習を進めた。また、福祉的な作業や職業の体験によって勤労について体験する機会を設けた。	61 -7 -1	67 +6 +12	41 +6 +11	キャリアに関わる多様な情報を様々なメディア、人材を活用して提供し、生徒が将来の目標を持つよう指導していく。
	基本的な生活習慣の確立	主に早寝早起朝ごはんの取組	就寝・起床・食事に関わって、各種啓業から保護者の意識が高まり、積極的に取り組む様子が見られ、生徒も意識して生活している。	60 -8 +7	59 -3 +19	42 +4 +11	夜更かしや偏食など。趣味や環境に大きく左右される事柄もあるため、生徒を通じて改善に向けての指導を継続していく。
	部活動の充実	部活動を通しての体力づくりと人間関係の育成	各部共に積極的に活動することができ、全体として良い成果を得られた。	71 +10 ±0	82 +1 +19	77 -7 +12	生徒は、毎日熱心に活動している。部活動に対する多様な考え方を考慮しつつ、今後も、自主的な運営や良好な人間関係作りを重点をおき指導していく。
	いじめのない学校作り	いじめのない学校作り	いじめのない学校づくりを意識し、コミュニケーションを取ることでストレスの少ない学校生活を送ることができるよう、教師・生徒・保護者ともに取り組んでいる。	93 +14 +8	93 +2 +8	87 +2 +16	全職員で生徒を見守り、ふりかえりアンケート、学校生活と友達づくりのためのアンケートなどで得られた情報を共有して、いじめのない学校づくりをすすめていく。
家庭地域との連携	学校と家庭の連携	学年・学級便り等の発行HPによる学校の様子の公開	各種通信額を定期的に発行した。必要に応じて健康関連情報などを提供できた。学校ホームページも比較的短期間で更新し、学校の様子を伝えることができた。	76 -6 -9	70 +4 +15	57 +12 +15	継続して、学校からの定期的および時宜にかなった情報発信を行う。また、様々なメディアを利用し、家庭や地域の方々に向けて学校の様子を伝える。
		授業参観や行事等への参加呼びかけ	行事等への参加率は高く、奉仕作業には、多くの保護者の協力を得られた。授業参観は参観者が多いが、フリー参観や学年総会・懇談会への参加は伸びなかった。	47 -14 -32	60 +2 +23	45 -8 +7	可能な範囲で、生徒の様子を参観していただける機会を設ける。多様な状況の中で参観できる機会が1回でも多くなるよう、早めの呼びかけを行うよう努める。

## 学校教育目標 「自ら学び、心豊かでたくましく生きる生徒の育成」

## 本年度の努力点

- 生きる力を育てる学習指導の充実を図る。
- 地域の自然、地域社会、学校生活での体験活動を、家庭や地域と連携し、原っぱ教育と関連づけながら行い、たくましさ豊かな人間性を育てる。
- 生徒指導の推進を図る。
- 職員研修の充実努める。
- 開かれた学校への取り組みの発展と実践に努める。

## 点数化の方法

(そう思う)×100+(ややそう思う)×50+(どちらとも言えない)×0-(あまり思わない)×50-(そうは思わない)×100 を人数で割ってあります。

最大値 100 ～最小値 -100 の値になります。 0 が中央になります。

※赤字の+○○と青字の-○○は、昨年度との比較です。

	重点目標	評価指標	達成状況	教師	生徒	保護者	改善策等
確かな学力の定着	学力の向上	生徒の実態を踏まえた個に応じた指導	教材研究に力を入れ、また、ITやノート指導など、個に応じた指導ができるよう工夫・改善を進めてきた。	72 +4	67 +16	40 +19	授業中の机間巡視・ITや定期的なノート指導など、さらに工夫をし、個に応じた指導がよりきめ細かくできるようにする。
		表現する力を育てる指導	「やまなしスタンダード」を活用し、授業での発表の機会、また、発問の工夫など、いろいろな形で表現力を高める指導が実践できた。	71 -3	56 +5	13 +12	自分の考えを他人に伝えることに対し、さらに重要視されてくることを考え、授業のなかでもこれらの活動をより多く取り入れていく。
		ノート作りの指導	「やまなしスタンダード」を生かし、教科でのノート指導、また、担任としてのノート指導に力を入れ、生徒のノートに姿容が見られるようになった。	29 -15	56 +12	33 +9	校内研究にも「やまなしスタンダード」を活用した授業実践を取り入れ、ノート指導をよりきめ細かく行い、真に活用できるノート作りをできる生徒が増えるよう工夫したい。
		家庭学習の習慣化	「学びの甲斐善八か条」を生かした家庭学習の習慣化の大切さを生徒に理解させ、校内研を中心に取り組んできた。	56 -18	60 -2	33 -14	家庭学習ノートの活用で習慣が身につけている生徒は多くなった。しかし、その内容などにさらに工夫改善ができるよう、指導をしていく。
豊かな心 健やかな体の教育	生徒理解	生徒の悩みや不安に対する相談・生徒理解	学年、生徒指導部を中心に対応してきた。全体として落ち着いた学校生活を過ごしている。	72 +13	26 +10	0 +2	やりとり帳を毎日チェックすることや、多くの生徒への声かけなどにより、生徒との対話を多く持てるよう取り組んでいく。また、教職員が情報を共有していく。
	あいさつの習慣化	あいさつの指導	生徒会を中心にあいさつ活動に取り組んできた。その成果が出てきている。今後も継続したい。	69 -10	84 +6	58 +11	あいさつの習慣はかなりできている。今後も、形式的なものではなく、心のもったあいさつ・TPOに応じたあいさつができるよう指導していく。
	地域人材等の活用	地域人材・教材の活用を図り、地域のリソースを活用した実践	行事の中に地域人材等の活用は多く取り入れて行ってきた。教師や生徒の意識改革が必要であると思う。	42 +7	74 -3	78 +16	地域人材を活用した取組は、生徒・保護者にも好評である。さらに、内容（保護者も含めた）を工夫して継続していく。
	自主性を育てる生徒会活動	生徒会や委員会活動を積極的に行っている	生徒会活動は全体的に活発である。その中で自主性をどう育てるかが課題である。	74 +3	76 +10	64 +13	生徒会本部を中心にした自主的な活動・特色ある活動（特に委員会活動）に重点を置き、指導していく。
	朝読書	朝の読書活動の充実	朝読書は本校の伝統である。図書館主任、図書委員会を中心に創意工夫ある活動が展開されている。	56 -6	55 +9	27 +14	学校での朝読書は、生徒の自主的な活動として定着しているが、そこから、家庭での読書に繋がるよう継続して指導していく。
	キャリア教育の充実	生徒の将来に関わる生き方や進路指導	総合的な学習や学活などで進路学習を進めた。また、サマーショートボランティアや職場体験を実施した。	68 +6	61 +6	35 +5	各学年ごとに活動計画において、生徒が将来の目標を持てるよう、さらに活動内容を精査し検討を加え指導していく。
	基本的な生活習慣の確立	主に早寝早起き朝ごはんの取組	早寝・早起き・朝ごはんの習慣は多くの生徒に定着していると思われる。保護者も家庭で取り組んでいる。	68 +15	62 +22	38 +7	早寝・早起き・朝ごはんの習慣は定着してきている。しかし、まだ一部の生徒に課題がある。さらに改善できるよう指導していく。
	部活動の充実	部活動を通しての体力づくりと人間関係の育成	各部共に積極的に活動してきた。全体として良い結果と結果をえられた。	61 -10	81 +18	84 +19	生徒は、毎日熱心に活動している。今後も、自主的な運営や良好な人間関係作り重点をおき指導していく。
いじめのない学校作り	いじめのない学校作り	教師・生徒・保護者ともに、いじめのない学校づくりを意識し、学校生活を送っている。	79 -6	91 +6	85 +14	QU検査、アンケートなどの結果を活用する。全職員で生徒の様子を細かく観察し、情報を共有して、いじめのない学校作りをすすめていく。	
家庭地域との連携	学校と家庭の連携	学年・学級便り等の発行HPによる学校の様子の公開	学校だより・学年・学級通信を定期的に発行した。また、ホームページも機会あるごとに更新できた。	82 -3	66 +11	45 +3	今年度と同様に、定期的に学校からの便りの発行を行う。また、様々な形でタイムリーな情報を発信していく。また、家庭や地域の情報収集に努める。
		授業参観や行事等への参加呼びかけ	保護者の学校への関心と行事への参加率は高い。授業参観では、出席していただけるが、フリー参観だと参加が少ない。奉仕作業には、多くの保護者の協力を得られた。	61 -18	58 +21	53 +15	授業参観とフリー参観の違いはないのだが、機会あるごとに参加を呼びかける。日曜の授業参観が、多くの方の出席があるので、このような形を増やすことも考えていく。

学校教育目標 「自ら学び、心豊かでたくましく生きる生徒の育成」

本年度の努力点

- 生きる力を育てる学習指導の充実を図る。
- 地域の自然、地域社会、学校生活での体験活動を、家庭や地域と連携し、原っぱ教育と関連づけながら行い、たくましさ豊かな人間性を育てる。
- 生徒指導の推進を図る。
- 職員研修の充実を努める。
- 開かれた学校への取り組みの発展と実践に努める。

点数化の方法

(そう思う)×100+(ややそう思う)×50+(どちらとも言えない)×0-(あまり思わない)×50-(そうは思わない)×100 を人数で割ってあります。  
 最大値 100 ~最小値 -100 の値になります。 0 が中央になります。

	重点目標	評価指標	達成状況	教師	生徒	保護者	改善策等
確かな学力の定着	学力の向上	生徒の実態を踏まえた個に応じた指導	教材研究に力を入れ、また、ITやノート指導など、個に応じた指導ができるよう工夫・改善を進めてきた。	68	51	21	ITやノート指導など、さらに工夫をし、個に応じた指導がよりきめ細かくできるようにしたい。
		表現する力を育てる指導	授業での発表の機会、また、発問の工夫など、いろいろな形で表現力を高める指導が実践できた。	74	51	1	自分の考えを、他人に伝えることは、さらに重要視されてくることを考え、授業のなかでもこれらの活動をより多く取り入れていく。
		ノート作りの指導	教科でのノート指導、また、担任としてのノート指導に力を入れ、生徒のノートに変容が見られるようになった。	44	43	24	校内研究にも取り入れ、ノート指導をよりきめ細かく行い、真に活用できるノート作りをできる生徒が増えるよう工夫したい。
		家庭学習の習慣化	家庭学習の習慣化の大切さを理解させ校内研を中心に取り組んできた。	74	62	47	家庭学習の習慣が身につけている生徒は多くなったが、その内容などにさらに工夫改善ができるよう、指導をしていく。
豊かな心 健やかな体の教育	生徒理解	生徒の悩みや不安に対しての相談 生徒理解	学年、生徒指導部を中心に対応してきた。全体として落ち着いた学校生活を過ごしている。	59	16	-2	やりとり帳を毎日チェックすることや、多くの生徒への声かけなどにより、生徒との対話を多く持てるよう取り組んでいく。
	あいさつの習慣化	あいさつの指導	生徒会を中心に取り組んできた。その成果だと考えられる。今後も継続したい。	79	78	47	あいさつの習慣はかなりできている。今後も、形式的なものではなく、心のこもったあいさつができるよう指導していく。
	地域人材等の活用	地域人材・教材の活用を図り、地域の資源を活用した実践	地域人材等の活用は多く取り入れて行ってきたと考えている。教師や生徒の意識改革が必要であると思う。	35	77	62	地域人材を活用した取り組みは、生徒・保護者にも好評である。さらに、内容を工夫して継続していく
	自主性を育てる生徒会活動	生徒会や委員会活動を積極的にやっている	生徒会活動は全体的に活発である。その中で自主性をどう育てるかが課題である。	71	66	51	自主的な活動に重点を置き指導していく
	朝読書	朝の読書活動の充実	朝読書は本校の伝統である。図書館司書、図書委員会を中心に創意工夫ある活動が展開されている。	62	46	13	朝読書は定着しているが、そこから、家庭での読書に繋がるよう指導していく
	キャリア教育の充実	生徒の将来に関わる生き方や進路指導	総合的な学習や学活などで進路学習を進めた。また、サマーショートボランティアや職場体験を実施した。	62	55	30	生徒が将来の目標を持てるよう、活動内容に検討を加え指導していく
	基本的生活習慣の確立	主に家庭学習習慣の定着	家庭学習の習慣は多くの生徒に定着していると思われる。しかし、保護者の見方は、厳しい点も見受けられる	53	40	31	家庭学習の習慣は定着してきているが、その内容、方法など、さらに改善できるよう指導していく
	部活動の充実	部活動を通しての体力づくりと人間関係の育成	各部共に積極的に活動し全体として良い成果と結果につながっている。	71	62	65	生徒は熱心に活動している。今後も、自主的な運営や良好な人間関係作り重点をおき指導していく
いじめのない学校作り	いじめのない学校作り	教師生徒保護者ともに、いじめのない学校づくりを意識し、学校生活を送っている。	85	85	71	QU検査、アンケートなども含め、生徒の様子を細かく観察し、いじめのない学校づくりをすすめていく	
家庭地域との連携	学校と家庭の連携	学年・学級便り等の発行 HPによる学校の様子の公開	学年・学級通信を定期的に発行した。また、ホームページも機会あるごとに更新してきた。	85	55	42	今年度と同様に、様々な形で、タイムリーな情報を発信していく
		授業参観や行事等への参加呼びかけ	行事への保護者の参加は高いと思われるがフリー参観や学級懇談会への参加率を上げるための工夫が足りなかった。	79	37	38	日曜の授業参観が、多くの方の出席があるのでこのような形を増やすことも考えてゆく